



2018 **10/18**
19:00~21:00

場所 **SENQ霞ヶ関**

東京都千代田区霞が関一丁目4番1号
日土地ビル2F

【最寄り駅】

- ◆東京メトロ 銀座線
虎ノ門駅7番出口 徒歩1分
- ◆東京メトロ 千代田線・日比谷線・丸ノ内線
霞ヶ関駅A12番出口 徒歩3分

参加申込

下記URLよりお申し込みください。
<https://goo.gl/61qv16>



関連地域

岩手県釜石市・宮城県石巻市

巻風エールのお土産付き!

東北との二拠点居住や副業のあり方! 地域課題解決に関わる多様な働き方

◆参加費 無料

◆定員 30名

◆主催 復興庁

「Fw:東北」は「進む」の意味を「フォワード」に置き換えた東北における共創によるプロジェクト全体の愛称です。被災地復興及び地域課題の解決に取り組んでいるNPO、企業、自治体等が、自らの取組を加速・発展させるため、共創の手法を通じて、新たなパートナーとのつながりを創出し、地域社会の課題解決を目指していきます。

「Fw:東北Weekly」では、復興庁、「新しい東北」官民連携推進協議会による、「Fw:東北」の取組み、プロジェクトをご紹介します。東北で様々なテーマを掲げて行われている活動や、それらに取り組む人々にフォーカスを当て、認知向上や共創の輪を広げる活動として、各種イベントを、東京や東北各地で多数展開(年間30本程度を予定)します。

東北との二拠点居住や副業のあり方！ 地域課題解決に関わる多様な働き方

関連地域 岩手県釜石市 / 宮城県石巻市

巻風エールのお土産付き！

日時 2018.10.18(木) 19:00～21:00(開場 18:30) 場所 SENQ霞ヶ関

地域課題

東日本大震災以降、ボランティアをはじめ、様々なきっかけでターン/リターン者がぐっと増えた東北地方。しかしながら、時間の経過とともに、人材の流入は減り、徐々に別の場所への移住や、2011年当時と比べると、東北地域に関わる人数の減少や関わり方の度合いは薄まってきており、元からの人材不足は解決していません。

副業解禁や二拠点居住など地域との関わり方において多様な関わり方のモデルが生み出されつつある一方で、正社員雇用ならびに定住した形といった形の受入方はまだ多く存在していない現状があります。

企画趣旨

限られた人材の中で、より多様な関わり方やそのきっかけの創出が必要とされる現在。東日本大震災後、ボランティアで東北を訪れたり、一旦は復興に関わる仕事で東北地方に居住した人の中には、そのまま継続してその地域に暮らすだけでなく、多拠点居住や、プロボノなど様々な関わり方で、引き続き地域の復興や、活性化に携わっている人たちがいます。ターンで地域に関わり、立場や所属を変化させながらも現在でも地域に関わり続ける2名の話を中心に、働き手目線での地域の関わり方を考えます。

今回のFw:東北Weeklyでは、様々なツール、勤務先の環境などを上手く活用して地域を越えた多様な働き方の創出の現状とその可能性を探っていきます。

登壇者

※順不同／敬称略

- ◆ 加納 実久 (一般社団法人イシノマキ・ファーム、一般社団法人ISHINOMAKI2.0、ミズベリング豊田)
- ◆ 中村 博充 (株式会社パソナ ソーシャルイノベーション部プロデューサー[元KAMAROQ株式会社代表取締役社長])

プログラム (予定)

19:00	開会(18:30開場)
19:10	パネルディスカッション 「地域を越えた多様な働き方の可能性」 ファシリテーター:中島 利恭 氏(株式会社Ridilover) パネリスト: 加納 実久 氏 「石巻と豊田の二拠点居住 定住ではない地域との関わり方(仮)」 中村 博充 氏 「都市部のビジネスパーソンを "複業人材"として活かすために(仮)」
19:50	ミニアイデアソン 「都市部に居ながらにして地域と関わる働き方とは(仮)」
20:40	LIKEorJOIN / コミットメントカード記入
20:50	Fw:東北活動紹介 / 閉会メッセージ



参加対象者

- ・地域での新しい働き方に関心のある方等
- ・多拠点地域における働き方に関心のある方等
- ・地域を支える新たな担い手づくりに関心のある方等
- ・その他、本イベントに関心のある方等

主催：復興庁 / 企画運営：NEC ソリューションイノベータ株式会社 (受託事業者)

「Fw:東北 フォワード東北」フェイスブックページ <https://www.facebook.com/fwtohoku/>

【注意事項】 ※会場への直接のお問い合わせはご遠慮下さい。